

第 24 回解剖技術研究・研修会参加報告

医学系部門 基礎社会医学班 清水 伸輝

1. はじめに（目的等）

本会は日本解剖学会術日総会にて併行して行われる解剖技術研究会であり、解剖学関係の技術職員、解剖組織技術士の研修を目的とし、形態学分野における技術の伝承と発展を基本理念と考え、日常の解剖技術業務に関する報告、現状の問題点等を研究会での発表を通して意見交換を行い、今後の業務遂行に役立てることとしている。

2. 期間・場所

期間：2023 年 3 月 18 日（土）

場所：東北大学 川内北キャンパス講義棟 C 棟 3 階講義室（C301）

3. 参加者等

各大学の解剖学技術職員 約 50 名

4. 研修内容

今回の研修会では、教育講演「医学部における解剖学教育・研究の現状と課題について」、テーマ講演「ご遺体からの感染症リスク」について聴講し、討論「感染症リスクマネジメント」の情報交換を行った。

5. まとめと感想

今回の解剖技術研修会では、ウイルスや細菌などに暴露された場合の対処法など大変勉強になった。献体業務を行う解剖学技術職員は感染症対策には十分な対応をしなければならない。そして感染症の暴露予防には個人防護具の装着ならびに労働衛生三管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）が重要であり、メスや注射針等を取り扱う献体業務を行う際には、これからも作業環境を整え丁寧な取扱いそして細心な注意を払って業務に取り組みたい。